

# 2015 MOTORCYCLE SPORTS RULES

# ENDURO

## エンデューロ

### CONTENTS

#### ▼付則23 エンデューロ競技規則

1 総論	273
2 コース	273
3 大会特別規則 (SR) の発行	273
4 エントリー用紙	273
5 司法	273
6 ライセンス、ライセンスによるクラス区分、ポイント、ゼッケン	275
7 ポイント集計方法	276
8 再スタート	276
9 順位及び結果 (競技終了前の中止)	277
10 ライダーライセンス	277
11 エントリー	277
12 車両の仕様・車両検査 (以下車検)・音量検査	277
13 競技中における車両検査	279
14 大会運営について	279
15 スタート	281
16 燃料補給	282
17 環境保護	283
18 外部動力の禁止	283
19 外部からの援助	283
20 禁止される伝達方法	284
21 リタイヤ	284
22 ルートマーキング	284
23 交通法規	285
24 通行不可能な箇所	285
25 タイムチェック	285
26 タイムカードとルートカード	285
27 タイムリミット	287
28 ルートチェック	287
29 テスト	287
30 テストの注意事項	288
31 テストのスタート方法	288
32 最終車検	289
33 ペナルティーリスト	289
34 競技役員	290
35 公式通知	290
36 説明の要求	290

37 抗議	290
38 規則の解釈	291
39 結果の発表	291
40 表彰式典	291
41 ISDE (インターナショナルシックスデイズエンデューロ) のトロフィーチーム選考について	291
42 肖像権	291
43 本規則の施行	291

#### ▼付則24 エンデューロ技術規則

1 クラス	292
2 テレメトリー	292
3 一般仕様	292
4 フレームの定義	292
5 始動装置	292
6 オープン・トランスミッション(スプロケット)ガード	292
7 エキゾーストパイプ	293
8 ハンドルバー	293
9 コントロール・レバー	293
10 スロットルコントロール	294
11 フットレスト	294
12 ブレーキ	294
13 マッドガードおよびホイールプロテクション	294
14 ストリームライニング (カウリング)	294
15 ホイール、リム、タイヤ	295
16 エンデューロ用タイヤ (FIMスタンダード)	295
17 ゼッケンナンバープレート	295
18 保安部品	296
19 燃料、オイル、およびクーラント	296
20 空気	296
21 装備と保護用ウェア	296
22 ヘルメットの着用	297
23 車検	297
24 危険車両の排除	298
25 ノイズコントロール (音量測定)	298
26 本規則の施行	299

※規則変更点は太字で示されています。

# 2015 MOTORCYCLE SPORTS RULES

## 付則23

### エンデューロ競技規則



#### 1 総論

大会は、モーターサイクル（以下車両という）の信頼性及び規定された条件の基に設定されたルートとテストを走行することによって、参加者の技量を計ることを目的として開催される。

#### 2 コース

コースは、参加する車両がいかなる天候状況下においても走行できるものでなければならない。総走行距離は最低50km（1日ごと）とする。オーガナイザーは、8の字型のコースを設定することもできる。

競技開催日1日当たりの総合タイムは、原則として15分の最終タイムチェックを含み3時間以上6時間以内とする。

#### 3 大会特別規則（SR）の発行

主催者は、大会特別規則（SR）を発行しなければならない。大会特別規則（SR）には、コース、平均スピード、エントリー料金、宿泊施設等、開催地に関する必要な情報が含まれることとする。

#### 4 エントリー用紙

全てのエントリーは、各大会主催者の準備するエントリー用紙に記入され、ライダー、チーム、スポンサー及び車両製造メーカーまたはインポーター等に関する情報が漏れなく記入されていないなければならない。

#### 5 司法

適切な種目及び職能を有するライセンスを所持するMFJ競技役員またはFIMエンデューロオフィシャルライセンス所持者によって大会は管理され、そのすべての競技役員とアシスタントは競技監督の管理下にある。

- 5-1 MFJライセンスを所持する競技役員以下の役務を行う競技役員は、当該年度有効なMFJ競技役員ライセンスまたはFIMエンデューロオフィシャルライセンスを所持していなければならない。
- 審査委員長……競技役員1級（種目問わず）  
又はFIMエンデューロオフィシャルライセンス所持者
  - 審査委員……競技役員2級以上（種目問わず）  
又はFIMエンデューロオフィシャルライセンス所持者

- 競技監督……………競技役員 2 級以上（モトクロスに限る）  
又はFIMエンデューロオフィシャルライセンス所持者
  - 車検長……………競技役員 2 級以上（種目問わず）所持者  
又はFIMエンデューロオフィシャルライセンス所持者
  - 計時長……………競技役員 2 級以上（種目問わず）所持者  
又はFIMエンデューロオフィシャルライセンス所持者
- 5-2 車検長  
主催者より任命される車検長は、MFJ規則並びに大会特別規則に車両や装備が適合しているかどうか確認しなければならない。
- 5-3 競技監督の役務
- 5-3-1 競技監督は、大会の健全な運営と管理に対する責任を有する。
- 5-3-2 すべての競技役員が揃い、各役務に従事する準備が整っていること及び安全管理・医療体制に関わるスタッフが揃っていることを把握し、かつ、コース及びセクションのすべてが良好な状態を保つことに従事する。
- 5-3-3 MFJ規則が遵守されているかどうかを判断し、必要に応じて審査委員会にペナルティーを上申する。
- 5-3-4 ライダーと車両が登録されたものと相違無いか、及びライダーが競技参加資格を有しているかを確認する。競技参加に不適切である行為が行われた場合のペナルティー（ライセンス停止・競技参加資格剥奪等）を「国内規律裁定委員会」へ上申する。
- 5-3-5 安全上の理由または不可抗力による事由（天災等）が発生した場合に、コース変更・競技時間の変更・一時的な大会の停止・大会の一部キャンセル等を判断する。
- 5-3-6 安全上の理由によりライダーまたは車両のスタートを拒否する、当該ライダーを大会から除外とすることを判断する。
- 5-3-7 競技役員または主催者の任命したスタッフの指示を無視するいかなる人間をもコースまたはセクションから離れるよう命令することができる。
- 5-3-8 すべての決定事項、提出された抗議に対する裁定事項を審査委員会に報告する。
- 5-3-9 タイムキーパー及びその他役員からのレポート、また、その他審査委員会にレポートしなければならない全ての情報をまとめる。また、大会の暫定結果の承認を得る。
- 5-4 タイムキーパー（計時長）  
大会に使用するタイムキーピングシステム（計測・集計機器）を扱うことができるタイムキーパーが任命される。タイムキーパーは各チェックポイントにおいて、競技役員及びライダーにわかるよう、公式タイムを表示する時計を準備しなければならない。
- 5-5 大会審査委員会  
審査委員長、審査委員及び競技監督、車検長は、主催者によって任命される。大会審査委員会は、奇数となる人数で構成され、決議が同数の場合は審査委員長が決定票を投じる。
- 5-6 審査委員長の役務  
審査委員長の役務は以下のとおりとする。
- 5-6-1 主催者が発行する公式通知及び変更事項の承認
- 5-6-2 競技監督の報告に基く罰則対象選手に対するペナルティーの承認
- 5-6-3 すべての抗議に関する裁定

- 5-6-4 大会リザルトの承認
- 5-6-5 大会の中止・中断の最終決定
- 5-7 審査委員会の権限  
 審査委員会は、MFJ規則ならびに大会特別規則に則り、大会の公正な運営を監視する責任に基き、競技監督をはじめとする大会運営すべてに対する発言権を有する唯一の最高決定機関とするが、その機能はスポーツとしての運営分野に限定され、大会の法的責任は主催者にあるものとする。審査委員会は、大会中に発生するすべての抗議を裁決し、競技監督・主催者からの要望または独自の権限に応じて大会の開始を遅らせることができる。また、安全上の理由または不可抗力による事由（天災等）が発生した場合に、大会全体の中止・大会の一部キャンセル等を判断することができる。審査委員会は、MFJ国内競技規則に明記されている条件に則っていかなる罰則も裁定しなければならない。

## 6 ライセンス、ライセンスによるクラス区分、ポイント、ゼッケン

- 6-1 クラス
- 6-1-1 インターナショナルA・Bクラス  
 当該年度有効なエンデューロ国際ライセンス所持者が出場可能。  
 ※インターナショナルAクラスは登録制が適用される。
- 6-1-2 ナショナルクラス  
 当該年度有効なエンデューロ国内ライセンス所持者が出場可能。
- 6-1-3 ウィメンズクラス  
 当該年度有効なエンデューロ国内ライセンスを所持する女性が出場可能。
- 6-1-4 インターナショナルA・B、ナショナルクラス、ウィメンズクラスを総称し、“全日本クラス”と呼ぶ。
- 6-2 昇格  
 2015年度の全日本インターナショナルBクラスランキング1位～3位の者は自動昇格とし2016年全日本インターナショナルAクラスに登録される。2015年度の全日本ナショナルクラスで8位以内になった者は自動昇格とし2016年全日本インターナショナルBクラスに登録される。原則として、インターナショナルA・Bクラスからナショナルクラスへの降格は認められない。ただし㊦特別降格およびその手続き（57頁）で認められた場合を除く。
- 6-3 当該年度有効なモトクロス・トライアルIAライセンスに登録され、かつエンデューロ国際ライセンスを所持する者が、インターナショナルBクラスにおいて1度でも優勝し、かつエンデューロインターナショナルAを含めた総合結果の5位以内の成績を修め、エンデューロ委員会へ申請し認められた場合は、シーズン途中でもインターナショナルAクラスへクラス変更することができる。
- 6-4 ライセンス  
 インターナショナルA・B、ナショナルクラス、ウィメンズクラスともにMFJ公認エンデューロライセンスのみが適用される（エンジョイライセンスでの出場は認められない）。
- 6-5 メカニック  
 全日本選手権インターナショナルA・Bクラスのメカニックとして作業を行なう者は、当該年度有効なMFJピットクルーライセンス所持者でなければならない。

## 7 ポイント集計方法

- 7-1 全日本クラスに出場し、上位の成績を収めた選手に対し、以下のポイントスケールに則りポイントが与えられる。複数日数（2日間等）開催の場合は1日ごとの成績に対しポイントが与えられる。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
得点	25	22	20	18	16	15	14	13	12	11
順位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	20位
得点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

※完走者にのみポイントが与えられる

ファイナルクロスが開催される場合は、2日目の結果に含むものとする。

- 7-2 2日間で構成された競技会で、大会初日に順位を得られなかったライダーは、2日目も「**8再スタート**」に記載されている条件下において、スタートが許可される。
- 7-3 その日の最終結果で同順位が生じた場合、当該ライダーにはそれぞれ当該順位のポイントが与えられ、その次に位置するライダーは、その順位によるポイントが与えられる。

例：ライダーA 28'20" 10ポイント  
 ライダーB 28'20" 10ポイント  
 ライダーC 30'00" 8ポイント

- 7-4 インターナショナルA・B、ナショナルクラス、ウィメンズのそれぞれにおいてランキングが管理される。
- 7-5 2015年全日本選手権シリーズの全クラスのランキングは、7-1によって与えられた全ラウンドの合計得点により決定される。
- 7-5-1 2日間で構成された競技会の1日目を「ラウンド1」2日目を「ラウンド2」とカウントする。
- 7-6 シリーズを通してインターナショナルAクラスにおいて最も多くポイントを獲得したライダーが全日本チャンピオンとされる。
- 7-7 シリーズランキングにて同ポイントとなった場合は、付則1-16「全日本選手権ランキング決定基準」（59頁）に基いてランキングを決定するものとする。

## 8 再スタート

- 8-1 競技第1日目にリタイヤした選手は以下の条件を満たすことにより競技第2日目に再スタートすることができる。
- 8-1-1 当該選手の最初に主催者から与えられたフィニッシュ時刻から60分以内（フィニッシュ時刻前は不可）に当該選手自身が車両を提示し再車検を受けること。ただし、特別規則（SR）によって再車検の時刻が規定されている場合は特別規則（SR）に従うものとする。
- 8-1-2 車両のフレームは大会の事前車検時と同じものであり、事前車検時のペイントがされていること。
- 8-1-3 車検は音量検査を含む車両検査に合格すること。
- 8-1-4 競技監督より失格の裁定を受けた場合は、審査委員会の裁定により再スタートが許可される。

## 9 順位及び結果（競技終了前の中止）

審査委員会によって競技が中止された場合、競技再開は行われない。

- 9-1 万一、競技が総走行距離の半分（50%）を出走台数50%以上のライダーが終了する前に中止された場合、当該イベントは無効とされる。
- 9-2 万一、大会が競技終了前で中止された場合、審査委員会はイベントを無効とするかまたは状況に準じた正当性のある結果及び賞を宣言することができる。

## 10 ライダーライセンス

- 10-1 インターナショナルA・Bクラス：当該年度有効なエンデューロ国際ライセンス
- 10-2 ナショナルクラス、ウィメンズクラス：当該年度有効なエンデューロ国内ライセンス
- 10-3 併催される承認クラスは、各大会特別規則（SR）に明記される。
- 10-4 一般公道を利用する競技会の場合は、道路交通法上、当該車両運転可能な運転免許証を所持しなければならない。
- 10-5 当該年度有効なロードレース国際、モトクロス国際A級、トライアル国際A級ライセンス所持者は初めてエンデューロライセンスを追加する場合に限り、エンデューロ国際ライセンスを申請のみで取得することができ、インターナショナルBクラスへの出場が認められる。

## 11 エントリー

競技に参加を希望する者は、大会主催者の用意する所定のエントリー用紙に必要事項全てを記入し、締切日までに主催者宛に送付しなければならない。

全日本エンデューロクラスのエントリー締切日は、当該大会開催日（2日間の場合はその初日）の1ヶ月前までに大会主催者宛必着を原則とするが、大会特別規則に記載された場合はそれに従うものとする。

## 12 車両の仕様・車両検査（以下車検）・音量検査

- 12-1 一般公道を使用する競技会の場合、道路交通法に則り、一般公道走行可能とされる正規登録及び自賠責等の保険手続きが完了しているナンバー付き車両のみ出場することができる。
- 12-2 全日本ゼッケンナンバープレート  
インターナショナルAクラス＝赤地に白文字  
インターナショナルBクラス＝紺地に白文字  
ナショナルクラス＝黒地に白文字  
ウィメンズ＝紫地に白文字 ※左上に“W”を記載
- 12-3 その他車両装備品  
一般公道を含む競技会の場合は、保安部品等の法的要件を満たさなければならない。  
その他仕様については大会特別規則（SR）に明記される。
- 12-4 サイドスタンド  
車両保管所（バルクフェルメ）にある車両は、安定性を確保するためにサイドスタンドが取り付けられていなければならない。スタンドは、車両フレームの一部として販売時についているものが望ましい。

12-5 エキゾーストシステム  
各車両には、エンデューロ技術規則に準拠したエキゾーストパイプ及びサイレンサーが装備されていなければならない。

12-6 車両のオリジナルパーツ  
事前車検（大会特別規則に時間等詳細について明記される）において合格した5つのパーツは以下の方法でマーキングされる。マーキングされたパーツは、競技会中、常に車両に装備されていなければならない。また、競技会終了後の最終車検時にマーキングされたパーツが適切に装備されているかどうかを確認される。事前車検においてペイントされたパーツを交換することは禁止される。本規則に違反した場合は失格または他のペナルティーが与えられる。ただし、サイレンサーが破損した場合、選手はルート上のどこでも交換することができる。また、競技第1日目にリタイヤした選手が再スタートする場合は、フレームのみに最初の車検時のマーキングが必要とされる。

パーツ	マーキング	数	マーキングの位置
フレーム（メイン）	※ペイント	1	ステアリングヘッド右側
ホイール（ハブ）	※ペイント	2	各ハブ
クランクケース	※ペイント	1	右側
サイレンサー	※ペイント	1	

※マーキングには塗料または剥がれにくいステッカーを使用すること。

※ホイールハブ、クランクケース及びサイレンサーにマーキングされるペイントは耐熱性のものでなければならない。

12-7 選手はルート上のどこでもマーキングされていないパーツを交換することができる。ただし、パーツと工具は補給可能エリアでのみ受け取ることができる。交換したパーツはその場に残しておくことが許可される。

12-8 音量検査

12-8-1 事前車検（競技開始前）

車両はエンデューロ技術規則の規定に従って行われる音量検査に合格し、主催者によってサイレンサーにマーキングを受けなければならない。この検査の際にはエアインテークやエアフィルターボックスを塞いだり、エアフィルターエレメントを除きエアフィルターボックス内にスポンジや布などの詰め物をしたりしてはならない。音量検査は主催者が指定する車検時間内であれば何度でも受けることができる。

12-8-2 競技開始後の音量検査

競技中（競技終了後にパルクフェルメに車両を入れる前を含む）、車検長は競技監督または審査委員の監督のもと、どの車両に対しても検査を実施することができる。検査にかかる時間は選手に与えられる。この検査において、最初の音量測定で音量が規定値を上回った場合は選手に対し1分のペナルティーが与えられ、2度目の音量測定において音量が規定値を上回った場合は失格または他のペナルティーが与えられる。最初の音量測定で不合格になった場合、選手はただちに2度目の検査を受けなければならない。

12-9 競技中のサイレンサーの交換

競技中にサイレンサーを交換した選手は競技役員に通知し、競技終了後に音量測定を受けなければならない。音量測定に合格した場合、正式なマーキングを受ける。音量測定に合格しない場合は、失格または他のペナルティーが与えられる。

12-10 競技終了後のサイレンサーの交換及び検査方法

選手は競技第1日目終了後、パルクフェルメに車両を保管する前にサイレンサーの修理及び交換をすることが出来る。作業は競技役員監督下で行われ、作業時間として選手に30分が与えられる。この規則は、競技監督によって指示を受け車両検査を受けた場合にも適用される。選手は与えられた30分間にサイレンサーの交換または修理を行い、音量検査を受けなければならない。30分経過後、音量検査に合格しなかった場合は競技第2日目にスタートすることはできない。

## 13 競技中における車両検査

- 13-1 車両の検査 【33ペナルティリスト (289~290頁) 参照】
- ・車両の検査は、競技会会場にて行われなければならない。
  - ・車検長の要請に従いライダーは自分の車両を車検場に自分で持ち込まなければならない。
  - ・競技会中のいかなるときでも、ライダーは自分の車両が規則に準拠していることに関して責任を持たなければならない。
  - ・競技役員は、任意のタイムチェックにおいて、各車両のすべてのマーキングされたパーツを確認することができる。
  - ・万一、規定パーツにマーキングされていない場合や疑わしき場合は、タイムチェック担当の競技役員が事前車検と異なった色のペイント（またはステッカー）で該当パーツにマーキングを施す。最終タイムチェックにおいて競技監督が当該選手のマシンを確認し、大会審査委員会に報告しなければならない。
  - ・それぞれの車両はエンデューロ技術規則に準拠し、前後タイヤが完全に装着され走行に支障のない状態でなければならない。
  - ・大会期間中において、審査委員会及び競技役員は、危険と判断した車両を失格とすることができる。
- 13-2 燃料 【33ペナルティリスト (289~290頁) 参照】
- すべての車両は、一般に入手できる無鉛ガソリンを使用しなければならない。燃料に関する違反があった場合、当該ライダーは失格とする。

## 14 大会運営について

- 14-1 車両およびクラスの変更
- エントリー締切日以降、参加クラスの変更はできない。車両を変更する場合は、その理由を明確にし、書面で提出しなければならない。変更申請手続きは、第1回公式車両検査開始時間の最低24時間前までに大会主催者に提出され、競技監督及び審査委員会にて承認されなければならない。
- 14-2 パルクフェルメ
- すべての競技会は、コース上で費やされる以外の時間及び規定されている各日スタート前の時間（朝の10分間のワークタイムを除く）において、車両は主催者の管理下に置かれるというパルクフェルメシステム（閉鎖管理）で運営される。
- 14-2-1 管理方法
- パルクフェルメには入場者を制限することの出来るフェンスで囲われた場所が含まれていなければならない。その境界は明確に区分され、競技監督の指示によって任務を受けた競技役員のみがその進入を許可される。第三者の入場を制限することができるよう、十分な数のオフィシャルにより管理されなければならない。この場所には、スターティングエリアに通じる出入口が1箇所のみ明確に設けら



れ、それ以外の出入口は設定しないこと。閉鎖管理に携わる競技役員は、誰が見ても（特にライダーから見て）識別できるウェア（またはベスト）を着用していなければならない。いかなる理由があっても、審査委員会メンバー、役務を遂行する当該オフィシャル、車両の搬入出を行うライダー以外の者がパルクフェルメに入退場することは禁止される。最終のタイムチェックを受けたライダーは、エンジンを停止し、遅れることなく車両をパルクフェルメ内に移動しなければならない。タイムチェックからパルクフェルメに移動する途中、車両への給油並びに調整は一切禁止される。

14-2-2 違反行為 【33ペナルティリスト（289～290頁）参照】

大会期間中パルクフェルメ内で、ライダーが以下の行為を行うことは厳禁とされ、違反した場合、失格または他のペナルティを与えられる。

14-2-2-1 他のライダーのマシンに触れる

14-2-2-2 搬入出以外の理由で自分自身のマシンに触れる

14-2-2-3 エンジンを始動させる

14-2-2-4 いかなるライダーもパルクフェルメ内で喫煙した場合は、失格。

14-2-2-5 パルクフェルメ内のマシンはいかなるものでカバーされてはならない。

14-2-3 スタートエリア

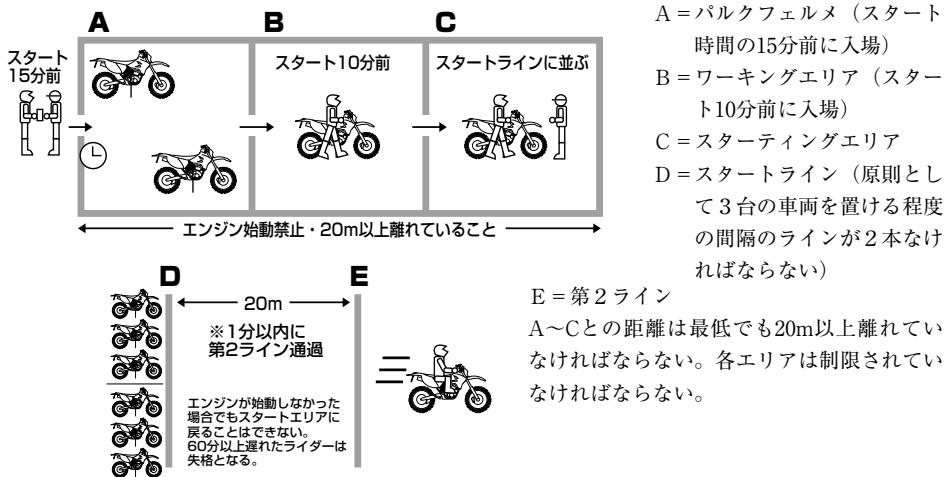
スタートエリアは、パルクフェルメの一部とし、スタートシグナルまたはスタートラインが表示されたエリアで、ライダーがスタートを待つ場所のことを指す。

14-2-3-1 審査委員会メンバー、競技監督から指定された競技役員、パルクフェルメ出口付近のスタート地点に集合しているライダーを除き、スタートエリアへの立ち入り及び援助行為は禁止される。

14-2-3-2 スタートシグナルが出されるまで、このエリアでの車両作業は禁止される。

14-2-3-3 大会主催者は、登録されたプレスのスタートエリアへの入場の可否及び人数そしてその条件について決定する権限を持つ。

参考例：パルクフェルメとスタートエリア



14-2-4 車両の保管

競技者の車両は、大会特別規則（SR）に明記されている時間から第1日目のスタートまでと第1日目の終了時点から第2日目のスタートまでの間については、大

会主催者の管理にもとづき、パルクフェルメにて保管されなければならない。

- 14-2-5 エンジン始動 【33ペナルティーリスト (289~290頁) 参照】  
スターティングエリア内のウェイティングゾーンで車両のエンジンを始動させることは禁止される。違反した場合、失格または他のペナルティーを科せられる。
- 14-2-6 スタート合図が出される前にスターティングライン上でエンジンを始動させることも禁止される。本事項に違反した場合、1分のペナルティーが科せられる。

## 15 スタート

- 15-1 全日本クラスのゼッケン
- 15-1-1 インターナショナルAクラスの年間指定ゼッケン
- ① 2014年全日本インターナショナルAクラスシリーズランキング順
  - ② 2014年全日本インターナショナルBクラスからの昇格者 (1~3位)
  - ③ ①を除く2014年全日本インターナショナルAクラスの年間指定ゼッケン順
  - ④ MFJエンデューロ委員会が特に認めた者
- 15-1-2 インターナショナルBクラスの年間指定ゼッケン
- ① インターナショナルAクラスへ昇格した1位~3位を除く2014年インターナショナルBクラスのランキング上位から指定する。(ポイント獲得者のみ)
  - ② MFJエンデューロ委員会が特に認めた者
- 15-1-3 ナショナルクラスの年間指定ゼッケン  
最初にエントリーした大会の主催者より指定される。
- 15-1-4 全日本クラスのインターナショナルA・Bとナショナルクラス、ウィメンズクラスは全て連番で管理される (インターナショナルA→B→ナショナルクラスの順で連番で割り振られる。ゼッケンの重複は認められない)。  
インターナショナル A: 1~100番  
インターナショナル B: 101~200番  
ウィメンズ : 201番~221番  
ナショナル : 222番~
- 15-1-5 全日本クラスに出場する全てのライダーは、ジャージまたはプロテクターの背中に選手氏名とゼッケン番号を印刷することを推奨する。選手氏名は1文字100×100mmの範囲内において、ゼッケン番号は1文字縦200mm×横150mmの範囲内において印字する。書体及び色は特に指定しない。
- 15-2 スタート順  
大会特別規則に従い、各クラス与えられたゼッケン番号に基き、スタートする。
- 15-3 スタートの準備  
ライダーは、大会公式通知に記載された時間に基き、車両をパルクフェルメ出口からスターティングエリアに移動するためだけにのみ、スタート時間の15分前にパルクフェルメに入ることが許可される。但し、移動はライダー自身でエンジンを停止させた状態で押して移動しなければならない。パルクフェルメ (スターティングエリアを含む) における車両への作業は一切禁止される。違反した場合、失格または他のペナルティーが科せられる。オフィシャルタイムを表示する時計がパルクフェルメ出入口に設置されていること。
- 15-4 スタート方法  
各日スタート前に、各ライダーのスタート時刻を正確に表示するスターティングシグナルが提示される。スターティングシグナル提示後1分以内にライダーはエ

エンジンをスタートラインで始動させ、エンジンの動力により前進し、スタートライン前方20m（第2ライン）にあるラインを通過しなければならない。

スタートラインに1分以上遅れてきたライダーは、1分の遅刻につき1分のペナルティーが科せられる。ライダーがスタートラインに到着した時刻が新しいスタートタイムとされ、その時点で1分が経過する間にスタート手順を遵守し、スタートしなければならない。遅れてきた場合は、スタッフが新しいスタート時間をカードに記入する。15分以上遅れたライダーは、失格とされ、スタートすることは認められない。【33ペナルティーリスト（289～290頁）参照】

15-5

エンジン始動

全ての車両はキック式、機械式または電気式等のスタート装置により始動するものでなければならない。始動させる為に駆動ホイールを回転させること（押しがけ）は禁止される。第2ラインまでにエンジンが停止してしまった場合、再始動させスターティングシグナル提示から1分以内に第2ラインを通過すればペナルティーは科せられない。

スターティングシグナル提示後1分以内に20m先のスタートライン（第2ライン）を通過できなかったライダーは、10秒のペナルティーが科せられる。エンジンをスタートしなかったためにペナルティーを受けたライダーは、20mライン（第2ライン）を通過した後、いかなる方法を用いて始動させることができる。

スタートに失敗またはスタートラインと20mライン（第2ライン）の間でエンジンが停止して再始動できなかったライダーは、スタートエリアに戻ることはできない。他のライダーの妨げとならないように進行方向に車両を押し、20mライン（第2ライン）を通過しなければならない。

コースインは必ずスタートラインを通過することが義務付けられる。

15-6

審議対象者のスタート

審議対象者となったライダーがスタートを希望する場合、大会特別規則に記載された手順に従い、パルクフェルメに保管されていた場合のみスタートすることが認められる。ライダーが出走の権利を失う場合は、審査委員会により失格が確定された時のみである。

## 16 燃料補給

16-1

燃料補給方法 【33ペナルティーリスト（289～290頁）参照】

16-1-1

補給は、オーガナイザーが禁止していない限り、全てのタイムチェック場所における白旗と黄旗の間にあるオーガナイザーにより指示された公式補給所でのみ行うことができる。

16-1-2

ファイナルタイムチェック前の最終補給所は最終作業エリア内になければならない。

16-1-3

黄旗とタイムチェックテーブル間での補給は禁止される。

16-1-4

補給に関わるいかなるタイム加算も認められない。

16-1-5

スタートエリア（ワーキングエリアを除く）における燃料補給は認められない。

16-1-6

車両に固定されたタンク以外に燃料を携帯することは認められない（ワーキングエリアを除く）。

16-1-7

いかなる発火性の強い液体をもライダーが携帯することは禁止される。

16-1-9

指定されたエリア以外で補給を受けてはいけない。

16-1-10

補給中は、エンジンを停止させなければならない。

16-1-11

燃料補給中、各チーム及び選手は燃料補給ポストの近く（最大5mの範囲内）に

消火器を準備することを推奨する。

16-1-12 40kmごとに最低1箇所の補給場所が設定されていなければならない。

16-1-13 補給エリアにおけるいかなる溶接作業も禁止とする。

16-2 燃料補給に関する外部からの援助 **【33ペナルティリスト (289～290頁) 参照】**  
補助及び外部からの援助は、補給可能な指定されたタイムチェック（白旗と黄旗の間）及び最終タイムチェック区間（作業エリア）に限り認められる。ただし、マシン整備はライダーのみ認められる。  
タイヤ交換はライダーのみ作業することが認められ、この作業は各日のスタート前ワーキングエリアと最終タイムチェックのみで行うことができる。チェーン潤滑油の補給は、補給エリアでのみ認められる。上記以外の場所における外部からの援助は一切認められない。タイムチェック（白旗と黄旗の間）及び最終タイムチェック（作業エリア）では、競技役員の視野からライダー・車両を隠すための柵や囲いが設置されることは禁止される。

## 17 環境保護

燃料が地面にこぼれることを防ぐ機材（総称して「環境保護マット」と呼ぶ）の使用は、オーガナイザーが燃料補給を認めた場所でその使用が推奨される。このマットの最低寸法は、車両のホイールベース長及びハンドルバー幅以上のサイズのものが望ましい。

## 18 外部動力の禁止

競技会中はすべて、タイムチェック時の補助員以外、車両は、エンジン動力・その車両で参加しているライダーの体力・自然の力でのみ移動する。

## 19 外部からの援助

「外部からの援助」とは、ライダーまたは役務に従事している競技役員以外の者が車両に接触することを指す。全ての外部からの援助は禁止されるが、補給が認められたタイムチェックとワーキングエリアでは、以下に挙げる外部からの援助が認められ、1台の車両に同時に接触できる人数は制限しない。 **【33ペナルティリスト (289～290頁) 参照】**

19-2-1 ゼッケンプレートとプラスチックパーツに貼り付けられたスポンサーステッカーに対する布やスポンジでの清掃作業。

19-2-2 キャップ・ドレンプラグの開閉を含む燃料、ギヤオイル、エンジンオイル、冷却水の注入と排出作業。オイルフィルターカバーの脱着とオイルフィルターの交換作業。ただしアンダーガードの脱着はライダーのみが行うことができる。

19-2-3 ブレーキオイルのエア抜き作業の補助

19-2-4 タイヤの空気圧の調整

19-4 エアまたは電動工具の使用は禁止される（バッテリーパワー工具は認められる）。電動またはエア工具の違反は、失格または他のペナルティが与えられる場合がある。エンジン式やコンセントからの電源が必要な工具の使用及び洗車機や水道から直接ホースを使用しての洗車等は禁止される。タイヤに空気を入れるためのコンプレッサーの使用は認められる。ただし、朝のワーキングエリアへのコンプレッサーの持ち込みは禁止される。

19-5 主催者が指示した場所、時間以外での洗車機の使用は禁止する。

19-6 車両から取り外されたマーキング部品に対する作業はライダーのみが行うことが

- できる。
- 19-7 ホイールに対する作業（スポークの交換、ブレーキディスクの交換）はライダーのみが行うことができる。リムから取り外されたタイヤに対しては、ライダーまたはメカニックがムースの入れ替え作業を行うことができる。
- 19-8 車両から取り外されたエンジンに対する作業はライダーのみが行うことができる。
- 19-9 修理のために取り外されたサイレンサーに対する作業は、ライダーまたはメカニックが行うことができる。
- 19-10 ライダーによって車両から取り外されたペイントされていないパーツ（サスペンション等）に対する作業は、ライダーまたはメカニックが行うことができる。

## 20 禁止される伝達方法

ライダーは、いかなる者とも無線の受信・送信を行ってはならない。違反した場合は失格とされる。【33ペナルティーリスト（289～290頁）参照】

## 21 リタイヤ

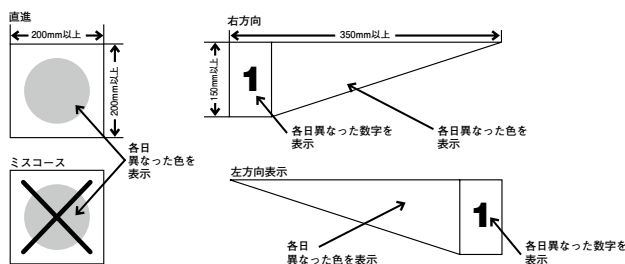
競技会からリタイヤしたライダーは全て、競技用ナンバープレートを消すか取り外さなければならず、他のライダーの同伴として走行ルートを継続して走行することは認められない。本規則に違反した場合、当該ライダーは、資格停止とされ、同伴を許したライダーは失格または他のペナルティーが科せられる。リタイヤするライダーは、大会本部へリタイヤすることを申告し、速やかにタイムカードを競技役員に提出しなければならない。

## 22 ルートマーキング

- 22-1 ルートマーキングの定義  
 オフィシャルルートは、ルートカードに記載され、マーキングされていなければならない。公式距離は正確な距離で発表される。ルートマークは、各日異なった色を使用しなければならない。もし、ライダーがルートカードに記載されているルートから外れた場合や逆走してしまった場合等、当該ライダーは、失格または他のペナルティーが科せられる。【33ペナルティーリスト（289～290頁）参照】

- 22-2 ルートマーキング  
 ライダーが明確に指定したルートを通るコース（例：牧草地、遊歩道等）が設定された場合、主催者はライダーの走行する通路を詳細かつ明確に表現するために、ポスト間を矢印で繋ぐ形で表示しなければならない。ルートマーキングにおける特別なサインの見本がスターティングエリアにおいて表示されていなければならない。ルートマーキングで使用されるサインまたは表示物は防水素材のものでなければならない。

◆参考例（大会により仕様が異なる）



## 23 交通法規

ライダーは競技会開催中、開催地で適用されている交通法規を準拠しなければならない。

## 24 通行不可能な箇所

競技監督が、大会に使用しているコースの中で通行不可能となった箇所または外部の援助無しでは通り抜けることが不可能であると判断した箇所は、次点のタイムチェック箇所までの区間を競技から除外することができる。この場合、修正は適格かつ公平に実施されなければならない。この決定は審査委員会により承認されなければならない。

## 25 タイムチェック

タイムチェックは黄旗で表示され、このエリアは、第三者の進入および外部からの援助を制限されることから、パルクフェルメとして考慮される。

25-1 設置箇所

25-1-1 各日走行開始地点のスターティングエリア出口

25-1-2 各日走行終了地点のパルクフェルメ入り口

25-1-3 コース中の主催者が指定した箇所

25-2 設定の基準

タイムチェックは、各タイムチェック間の走行タイムとともにルートカードに表示される。距離は「キロメートル (km)」で表示される。

タイムチェック間の距離は、5km～35kmが推奨される。タイムチェック間の最大平均速度は50km/hとする。2つのタイムチェック間に割り当てられた時間が、安全上または遵守すべき交通法規上困難な場合、競技監督及び審査委員会は、割り当てられた時間の延長または当該クラスに出場する70%以上のライダーがタイムペナルティーを受けた場合にはそのペナルティーをキャンセルすることができる。

25-3 スケジュールの変更

不可抗力の理由（天候の悪化等）により競技監督は、スタート前または各ラップの前に遅れることを見込んだタイムスケジュールの変更をすることが出来る。

## 26 タイムカードとルートカード

26-1 受渡し方法

1日目、2日目共に走行用のタイムカード及びルートカードは、パルクフェルメ入場時点で発行される。

ライダーは、自分のタイムカードに各タイムチェック及びルートチェックのスタンプを受ける責任を有する。

26-2 記載事項 **【33ペナルティースト (289～290頁) 参照】**

タイムカードには、各タイムチェック間の規定走行タイムが表示される。

26-3 タイムカードへの不正

タイムチェックを受けなかったライダー及びタイムチェックにおいてタイムカードにスタンプを受けなかったライダーや大会主催者に虚偽の申告をするための修正や記録の抹消、他のライダーのカードを使用する等の不正行為があった場合は、失格または他のペナルティーが科せられる。

26-3-1 タイムカードへの記入は主催者に任命された競技役員のみとし、それ以外の者（ライダーやサポート等）の記入は認められない。

競技役員以外の記入は不正行為とみなされ、失格または他のペナルティーが科せられる。【33ペナルティリスト (289～290頁) 参照】

26-4

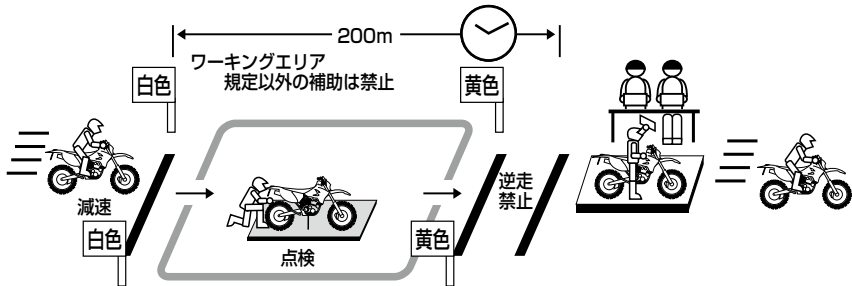
タイムカードの紛失

不可抗力によりタイムカードを紛失した場合、次のタイムチェックの担当競技役員より新たなカードを受け取らなければならない。その新しいカードは、それを受け取ったチェックポイント以降に使用されなければならない。

主催者または当該タイムチェック担当競技役員は、カードを無くしたライダーへ新しいカードを供給しなければならない義務を有するが、タイムカード再発行に要した時間について主催者の責に問うことはできない。

26-5

タイムチェック (標準)



26-6

タイムチェックの表示

タイムチェックはコントロールテーブルの200m手前のトラック両サイドに白旗が立てられ、コントロールテーブル20m手前に黄旗が立てられることによって示される。

サービス及びアシスタンス (ワーキングエリア) の無いタイムチェックの場合、コントロールテーブル70m手前のコース両サイドに白地に黒の×印の旗と20m手前に黄旗が立てられることによって示される。

26-7

タイムチェックの手順

タイムチェック用の公式タイムを表示する時計と同じ時刻を表示する時計がコントロールテーブル20m手前の黄旗提示箇所付近に設置される。

黄旗地点をライダーが車両とともに通過したら (または競技役員の要求に従って)、ライダーは速やかにタイムカードをコントロールテーブルに提出しなければならない。

タイムチェックへの到着時間とは、車両のフロントホイールが、2本の黄旗地点にあるラインを通過した時点とする。

ライダーは、黄旗地点とコントロールテーブルとの間で停止することは禁止される。停止した場合、タイムペナルティーとして1分加算される。

各日の最終タイムチェックでは、予定されている時間前であっても、ペナルティーを科せられることなく最終タイムチェックを受けてパークフェルメまで行くことができる。

26-8

プレフィニッシュ

ワーキングエリアの手前には最終周のみ、プレフィニッシュ (事前最終チェック) が設けられる。ライダーはこのプレフィニッシュから最終タイムチェックに行くまで、15分間のワーキングタイムが与えられる。

但し、1日開催及び、ファイナルクロスが無い2日目については、15分間のワーキングタイムを必要としない為、各大会特別規則 (SR) で、ワーキングタイムの有

無を記載し、発表する。

- 26-9 タイムチェックペナルティーの計算  
タイムチェック間の定められたタイムを守らなかったライダーは、1分早着（または遅着）につき、1分のペナルティーが科せられる。  
タイムチェックの到着時刻は、次の区間のスタート時刻となる。

## 27 タイムリミット

タイムチェックに60分以上遅れてきたライダーは、自動的に当該日の競技から失格とされる。【33ペナルティーリスト（289～290頁）参照】

ただし、審査委員会が当該選手の失格を最終的に決定し、競技役員から出走停止の合図があるまでは、ライダーは任意で競技を継続することができる。

万一、不可抗力の事態が発生しライダーがこれを理由に遅れた場合（例：重大事故が発生し人命救助のために停止しなければならなかった為に延着となった場合等）その事由を審査委員会に証明することを以って、情状酌量の裁定が検討される。これは本人以外の他のライダーからの申し立ては一切認められない。

## 28 ルートチェック

- 28-1 全てのタイムチェックでタイムカードにスタンプを押すことに加えて、ライダーはオフィシャルルートチェックでマーキングを受けるためにルートカードを提示しなければならない。ルートカードにマーキングをするかしないかは、ルートチェックの50～200m手前の左右どちらかに青旗を提示することで示される。ライダーが停止しなかった場合、失格とされる。
- 28-2 各ルートチェックにおいて主催者は、各ライダーのゼッケン、到着順、ライダーが通過した時間を記すチェックリストを持たなければならない。
- 28-3 各チェックリストで、完全にスタンプされたカードを提示できないライダーや、通過した記録の無いライダーは、失格または他のペナルティーが科せられる場合がある。【33ペナルティーリスト（289～290頁）参照】

## 29 テスト

スペシャルテストは、1日あたり最低15kmで、2種以上のテストが設定されていなければならない。悪天候等の不可抗力による事由により実施不可能と審査委員会が判断した場合は、その限りではない。

また、スペシャルテストのコースは、主催者の許可する場合、その時間帯に限り歩いて下見することが許可される。ただし、車輪のついた乗り物を使用しての下見は禁止される。

全てのステージにおいて境界線が無い場合はテープで境界線を示す。

主催者は、フィニッシュラインならびにフィニッシュラインより30m先地点に停止ラインを明確に表示し、ライダーはフィニッシュライン通過後30m以内で停止してはならない。

スタートは、スタートライン上に待機する車両のエンジン始動状態から行われる。

タイムキーピングは1/1～1/100秒で計測される。

なお、テスト開催場所は大会特別規則にて公示され、主催者により規制される。

各テストにおいて定められた平均スピードを超えるライダーがある場合、当該テストにおける以降のラップをキャンセルとする。

- 29-1 クロステスト（CT）



クロステスト (CT) のコースは、1～6 km (目安とする) のコースが設定されていること。閉鎖されたクロステストコースは、**事前に**告知されていなければならない。

コースは平均スピードが50km/h以下となるように設定されなければならない。

29-2

エンデューロテスト (ET)

各日において、最低1回のエンデューロテストが設けられなくてはならない。

エンデューロテスト (ET) のコースは、全車通行可能な1～6 km (目安とする) のコースが設定されていること。

また、規則に明記された安全対策が遵守されており、平均スピードが50km/h以下となるように設定されなければならない。

29-3

エクストリームテスト (XT)

主催者はエクストリームテスト (XT) を開催することができる。エクストリームテストの最大距離は±1 km～±3 kmとし、障害物が設置され、規則に明記された安全対策が遵守されており、平均スピードが25km/h以下となるように設定されなければならない。

29-4

ファイナルクロステスト (FX)

2日目の完走者に限り、参加資格を得られる。

2日目の順位によって最大30名ずつに、グループ分けされ、30台以内での一斉スタートで、1 km～5 kmのコースを数周し、タイムを競い、走行タイムがそのまま順位に反映される。

29-5

外部からの援助 **【33ペナルティールスト (289～290頁) 参照】**

主催者より任命された競技役員を除き、スペシャルテストにおける外部からの援助は一切認められない。本規則に違反した場合、失格とされる。

## 30 テストの注意事項

不可抗力によりテストコースから外れてしまいコースから外れた地点以外からコースに戻った場合、フィニッシュタイムに最大で5分のペナルティーが科せられる。

自発的にコースから外れた場合、またはショートカットした場合、失格または他のペナルティーが科せられる場合がある。

安全上の理由から主催者が変更することを除き、ライダー・メカニック等がテストのコース変更を行うことは禁止される。万一、コース変更 (違反行為) により有利と判断されたライダーには最低1分のペナルティーが与えられる。 **【33ペナルティールスト (289～290頁) 参照】**

## 31 テストのスタート方法

テストのスタートにはスタートサインが表示され、終わりにはフィニッシュサインが表示される。コースにはコースを表示するマーキングが施されなければならない。また、スタート位置には (白線やスタートゲート等) のスタートラインが引かれなければならない。スタートの合図は、主催者から任命された競技役員がグリーンフラッグを振ることによって行われる。ライダーは一時停止し、スタートの合図を受けてから5秒以内にスタートをしなければならない。

①ライダーは最初の合図でスタートをしなかった場合、注意を受ける。

②2度目の合図でスタートしなかった場合、20秒のペナルティー

③3度目の合図でスタートしなかった場合、1分のペナルティー

④4度目の合図でスタートしなかった場合、失格

※スタート前に一時停止しなかった場合、罰則が課せられる。

フィニッシュラインを通過したライダーは停止することなくフィニッシュラインから30m先に表示されている30mラインを通過しなければならない。計測開始ライン(トランスポンダーループ)はスタートラインから5m以内の場所に設置される。スタートはエンジン稼動状態でスタートラインから行われる。ローリングスタートを行った場合は1分のペナルティーが与えられる。

【33ペナルティリスト (289～290頁) 参照】

## 32 最終車検

競技終了後30分以内に、競技を終了した車両の中から1台もしくは数台のエンジンが検査の対象とされる場合がある。

## 33 ペナルティリスト

- 33-1 タイム加算
- ワーキングエリアでエンジンを始動させた…5分加算
  - スタートエリアでスタート合図前にエンジンを始動させた…1分加算
  - スタート合図後1分以内に20mラインを通過しなかった…10秒加算
  - スタートラインへの到着遅れ1分毎1分につき…1分加算
  - タイムチェックで、黄旗とコントロールテーブル間で停止する…1分加算
  - タイムチェックに早着または延着：1分間毎につき1分につき…1分加算
- 33-2 テスト
- スペシャルテスト (CT, ET, XT) タイムキーピングは、1/1～1/100秒で計測される。
  - 偶発的にテストコースから外れ、その外れた地点からコースに復帰しなかった…ライダーの計測タイムに最大5分加算
  - タイム計測がされているテストのコースを変更した…最低1分加算
- 33-3 失格 (または他のペナルティー)
- 競技開始後1回目の音量測定で規定音量を超えた…1分加算
  - 競技開始後2回目の音量測定で規定音量を超えた…失格 (または他のペナルティー)
  - レース開始のスタート時間に15分以上遅れる
  - スペシャルテストで外部から援助を受けた
  - マーキングのミスまたはオフィシャルの代替マーキング
  - エンデューロ技術規則の燃料規定違反
  - スタート合図前にスターティングエリアで車両への作業を行う
  - スポーツコードに反する行動をパルクフェルメでとる
  - パルクフェルメにおけるエンジン始動
  - エンジン始動状態でパルクフェルメに進入する
  - タイムチェックからパルクフェルメまでに燃料補給または補修作業を行う
  - パルクフェルメまたは作業エリアでの喫煙
  - 非公認の補助：スペアパーツまたは工具を作業エリア外または補給タイムチェック以外で受け取る
  - オーガナイザーによって準備された補給エリア外での補給または、モーターサイクル固有の燃料タンク以外による燃料の携帯
  - 補給中にエンジンを停止させなかった
  - 補給エリアにおいて溶接作業を行った

- 外部援助が認められたタイムチェック以外で外部からの援助を受けた
- 同伴者と認められない方法によりコンタクトした
- リタイヤしたライダーが他のライダーと同行した
- マーキングされたルート以外の走行、逆方向への走行、マーキングされたルートを遵守しない
- 公道規則を遵守しなかった
- タイムカード、パンチカードの変更や、他のライダーのカードを使用した
- タイムチェックを逃した
- オリジナルのスタートタイムより60分以上タイムチェックに遅れて到着した
- ルートチェックを逃した、または停止しなかった
- スペシャルテストのコースで練習を行った
- 故意にテストコースを外れた
- エントリー用紙に記載されたエンジン排気量を超えていた

### 34 競技役員

違反行為があった場合、競技役員は、可能な限り迅速かつ明確に当該ライダーに対しその違反について伝えなければならない。

主催者は、当該大会に携わる競技役員リスト（氏名、ライセンス種類及びライセンス番号）を遅くとも大会前日までに公表しなければならない。

### 35 公式通知

ライダーは、全ての競技結果・計測結果・距離及び決定事項等、主催者が発行する全ての公式通知を厳守しなければならない。

正式競技結果が公表される前に、競技結果や抗議の裁定を告知してはならない。

### 36 説明の要求

ライダーは競技内容に関わらず、競技結果に関する説明を求める場合、特別規則に定められている時間内に書面にて審査委員会に要求することができる。

### 37 抗議

当該大会に出場しているライダーのみが抗議保証料10,000円とともに抗議を提出することができる。抗議が受け入れられた場合、抗議保証料は返還される。抗議は、以下に記す時間以内に内容を記す書面、抗議保証料を揃えて提出されなければならない。

- 37-1 ライダーまたは車両に関する抗議の場合、当該クラスの最終ライダーがパルクフェルメに到着してから30分以内に提出されなければならない。
- 37-2 2日間で開催される大会の1日目の競技結果に関する抗議は、2日目の第1ライダースタート時刻の60分前までに審査委員会へ提出されなければならない。
- 37-3 2日目の競技結果に関する抗議は、暫定結果発表後30分以内に審査委員会へ提出されなければならない。
- 37-4 1日で開催される大会の競技結果に関する抗議は、暫定結果発表後30分以内に審査委員会へ提出されなければならない。
- 37-5 審査委員会による事情徴収の結果は、抗議申請が提出された時間から60分以内に書面にて受領する。審査委員会決定に対するいかなる抗議も認められない。

37-6 抗議は国内競技規則第3章「3]抗議」(46頁)による。

37-7 抗議は当該ライダーだけが行なうことができる。

## 38 規則の解釈

本規則及び大会特別規則(SR)の解釈は、MFJエンデューロ委員会および各大会主催者の責任下にある。本規則及び競技に関する疑義は大会事務局宛に質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

## 39 結果の発表

全日本各クラス各日の完全な結果は、可能な限り迅速に公表されなければならない。いかなる問題が発生した場合でも1日目の結果は2日目のスタート前までに公表されなければならない。

## 40 表彰式典

表彰式は、最終ライダーのフィニッシュ後2時間以内に行われなければならない。

※2日間の総合結果により表彰を行う。

(ポイントの付与はラウンド1・ラウンド2各日の成績に与えられる)

特別な理由が競技監督及び主催者により認められない限り、参加選手は表彰式に出席しなければならない。

インターナショナルA・Bクラスとナショナルクラスは混走で行なわれてもよいが、成績結果・各大会の表彰は全て分けて表彰しなければならない。年間ポイントランキングもクラスごとに分けて管理される。

年間シリーズランキングの成績上位3名が表彰される全日本ランキング認定表彰式は、インターナショナルAクラスが対象となる。

## 41 ISDE (インターナショナルシックスデイズエンデューロ)のトロフィーチーム選考について

MFJはトロフィーチーム(日本代表チーム)としての同大会への出場を認定する。

トロフィーチーム出場選手:6名

選手選考基準:前年インターナショナルAクラスのシリーズランキングとインターナショナルBクラスからの昇格者(上位3名)を対象に選出され、エンデューロ部会にて承認される(FIM国際ライセンス所持者であってもポイント未獲得者は選考の対象外とする)。

上記の対象者で出場枠の6名を満たさない場合、MFJエンデューロ委員会の推薦により選出される場合がある。

## 42 肖像権

主催者はエントラント(ライダー・メカニック・補助員)及び選手に同行する関係者全ての氏名・写真等を大会広報のために、テレビ・ラジオ・インターネット・印刷媒体等で使用する権利を有する。また、主催者が認めたプレスが報道目的でこれらを使用することを認める権利を有するものとする。

## 43 本規則の施行

本規則は、2015年1月1日より施行する。